

## A P E C 横浜開催について（中間報告）

11月7日（日）からパシフィコ横浜等においてA P E C 首脳会議等が開催され、14日（日）の首脳宣言「横浜ビジョン」をもって閉幕しました。

本市はA P E C 横浜開催推進本部を中心に、政府や経済界の会議開催を支援するとともに、会議関係者へのおもてなし、アピールに取り組み、また、広報やイベントなど市民がA P E C に親しんでいただけるような取組を行いましたので、政府・経済界の会議概要とともにA P E C 横浜開催の内容について中間報告します。

なお、関係者へのヒアリングや経済波及効果の再推計などの検証を進めており、年度内に改めて最終報告をします。

### I A P E C リーダーズウィークの概要

#### 1 会議のスケジュール

	11/7(日)	8(月)	9(火)	10(水)	11(木)	12(金)	13(土)	14(日)
<b>政府</b>	最終高級実務者会合			閣僚会議			首脳会議	
<b>経済界</b>		A B A C 会議			中小企業 サミット	C E O サミット		

#### 2 会議概要

##### (1) 政府の会議

- ・ パシフィコ横浜会議センター及びインターコンチネンタルホテルにおいて開催
- ・ 最終日の11月14日には、各地で行われた日本A P E C の会議の成果として、首脳宣言「横浜ビジョン」を発表
- ・ A P E C が目指す将来像やA P E C 初の成長戦略を示すとともに、アジア太平洋自由貿易圏の実現に向けた具体的な作業を進めることを表明

##### (2) 経済界の会議

###### ア A B A C 会議

- ・ ベイシェラトンホテルで開催され、各国・地域のA B A C 委員、スタッフら260名が参加
- ・ 13日にはパシフィコ横浜でA P E C 首脳と意見交換し、貿易の自由化等についての経済界の意向を表明

###### イ 中小企業サミット

- ・ ロイヤルパークホテルで開催され、A P E C メンバーに加えインド、フランスなど25の国・地域から一般募集した中小企業経営者ら約600名が参加
- ・ 「大樹も小さな種から」をテーマに中小企業が成長する上で必要な「資金・技術・グローバル市場へのアクセス」について議論

## ウ CEOサミット

- ・ ロイヤルパークホテルで開催され、21の国・地域から経済界の代表ら900名以上が参加
- ・ 「世界の成長の原動力としてのアジア太平洋 - 経済危機後の繁栄を目指して」をテーマに、14のセッションにおいて議論

### (3) 会議関係者数

約10,600名 《内訳》 政府関係の会議参加者：約4,600名  
 経済界の会議参加者：約1,700名  
 メディア関係者：約4,300名

《会場及び主な参加者のホテル》



《写真》



### 3 会場周辺の状況

- ・ 警備当局（約 21,000 名）による検問、職務質問や一部道路の交通規制等が実施され、パシフィコ横浜及び臨港パーク一帯への市民の立入が制限された。
- ・ バス路線の変更・運休、船舶の航路変更、遊覧ヘリコプターの休業、イベント日程の変更、集客施設の休業等が行われた。
- ・ リーダーズウィーク中、みなとみらい 21 地区及びその周辺で A P E C の反対行動なども行われた。

〈立入禁止となった区域と通行止めとなった道路〉



《写真》





## II 本市の取組

### 1 本市の取組の基本的な考え方

#### APEC 横浜開催を支援するための取組

会場周辺の地元住民・事業者等をはじめ、市民や関係者の会議開催に対する理解と協力を得られるよう必要な取組を実施。また、会場周辺の安全対策等を行い、会議を安全かつ円滑に開催できる環境を整備

地元対応

市管理施設の改修・警備強化

危機管理・医療対応

#### 横浜開催を意義あるものとするための取組

(3つの基本姿勢)

横浜のホスピタリティを発揮した、街の装飾や美化、ボランティアによる会議関係者への支援

おもてなし

会議関係者を対象とした視察プログラムや会場内へのPRブースの設置等により、横浜の魅力を国内外にアピール

アピール

親しむ

広報やイベントなどを通じて、市民に広く周知するとともに、参加国・地域に対する関心・理解を深める機会を創出

### 2 本市の主な取組経過

#### (1) 誘致からの主な取組

20年	・市会本会議でAPEC誘致立候補を表明
6月	・2010年APEC首脳会議の横浜開催を求める横浜市会決議
9月	・2010年APEC横浜誘致推進協議会設立 ・2010年APEC首脳会議の横浜誘致を成功させる横浜市議員の会設立
12月	・2010年APEC横浜誘致議員連盟設立 ・同議員連盟等による要望行動(～21年3月)
21年	・2010年APEC横浜誘致PRイベント(桜木町駅前)
3月	・政府が、首脳会議の開催地が横浜に決定したことを発表
7月	・2010年APEC横浜開催推進協議会設立
9月	・一般社団法人横浜みなとみらい21会員・施設設置者連絡会を通じた情報提供(以後3回実施)
11月	・2010年日本APEC横浜開催1年前セレモニー(カウントダウン・ボード点灯) ・APEC横浜開催周知リーフレットを発行
22年	・横浜市2010年日本APEC横浜開催推進本部設置
1月	(以後、3回の本部会議、約20回のワーキングチーム関係会議を開催) ・2010年日本APEC横浜キックオフセミナー
3月	・都筑MyプラザまつりでAPECのPR(パネル展やクイズ)

4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>APEC 首脳会議等の会議場がパシフィコ横浜に決定</u></li> <li>・ 既存イベント等でのPR①（青葉区桜まつり、ヨコハマ大道芸等）</li> <li>・ 西区商店街組合連合会、中区商店街連合会での情報提供</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存イベント等でのPR②（ザよこはまパレード、開港祭等）</li> <li>・ 市民サポーター募集開始</li> <li>・ <u>2010年日本APEC横浜市警戒本部設置</u>（以後5回の本部会議を開催）</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 既存イベント等でのPR③（開港記念式典、tvk収穫祭等）</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「おもてなし作品」制作ワークショップ開始（9か所）</li> <li>・ みなとみらい21地区内住民向け説明会を開催（計4回）</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ APEC横浜開催記念キャンペーン周知リーフレット配布開始</li> <li>・ 住民確認カード・住民用車両確認カード発行開始（各マンションでの出張発行）</li> </ul>
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業者向け車両確認カード発行場所開設（グリーンスポット）</li> <li>・ みなとみらい21地区事業者に対する説明会（10月にかけて3回開催）</li> <li>・ 市民サポーターオリエンテーション開始</li> <li>・ 広報よこはま特別号配布</li> <li>・ APEC女性リーダーズネットワーク会合関連イベント（横浜シンポジア）</li> <li>・ APEC横浜開催記念イベント（赤レンガ倉庫）</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 街の美化イベント「ウェルカムAPECクリーンアップ」実施</li> <li>・ 既存イベント等でのPR④（国際フェスタ、各区区民まつり等）</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>リーダーズウィーク</u>（(2)リーダーズウィークの主な取組参照）</li> </ul>

## （2）リーダーズウィーク中の本市関連の主な行事

	公式会議		本市関連行事
11/7日	高級実務		
11/8月	者会合	A B A C 会議	・ 高級実務者昼食会
11/9火			・ 閣僚歓迎レセプション
11/10水	閣僚会議		・ 閣僚同伴者エクスカージョン（八景島シーパラダイス）
11/11木		中小企業 サミット	・ A P E C開催記念シンポジウム
11/12金		C E O サミット	・ 香港行政長官が資源循環局旭工場等を訪問 ・ ビジネスリーダー交流会
11/13土	首脳会議		・ C E O同伴者プログラム（横浜能楽堂ほか） ・ 中国国家主席夫人が人形の家を訪問
11/14日			・ 首脳同伴者プログラム（三溪園・地元PRブース） ・ ペルー大統領が臨港パークのリマちゃん像※を訪問

※ 日本人ペルー移住100周年記念像。平成11年（1999年）2月、臨港パークに設置

### 3 主な取組内容

#### (1) 横浜開催を支援するための取組

##### ア 地元対応

(ア) みなとみらい 21 地区の住民等に対する情報提供

- ・ 22 年 2 月以降 8 回にわたり「A P E C 横浜開催に関連するお知らせ」を全戸配布
- ・ みなとみらい 21 地区内住民向け説明会を開催（7 月 4 日、7 月 10 日、合計 4 回）
- ・ 区連合町内会連絡協議会に対し情報提供（西区、中区、神奈川区）

(イ) みなとみらい 21 地区の事業者等に対する情報提供

- ・ 21 年 9 月以降 7 回にわたり、一般社団法人横浜みなとみらい 21 を通じて情報提供
- ・ みなとみらい 21 地区内事業者向け説明会を開催（9 月 2 8 日、1 0 月 7 日）
- ・ 必要に応じ各テナントに対する個別説明も実施
- ・ 横浜駅、伊勢佐木町、元町など周辺商店街に対し情報提供

(ウ) 来街者等に対する情報提供

- ・ 神奈川県警察と連携した交通総量抑制、公共交通機関利用、通行規制などの広報
- ・ 県内教育機関・福祉施設に対し、A P E C 開催に伴うみなとみらい 21 地区への影響について情報提供

(エ) 住民確認カード・車両確認カードの発行

- ・ 住民や事業者への影響軽減策として、8 月 30 日から 11 月 14 日まで、住民確認カード 6, 114 枚、車両確認カード 8, 507 枚を発行

《写真》





立入禁止の予告板



公共交通機関利用の呼びかけ



車両ステッカー



歩行者へのお知らせチラシ



住民確認カード



マンションでの確認カードの発行



車両確認カード



事業者のトラックに置かれた車両確認カード



## イ 市管理施設の改修・警備強化

### (ア) 会場周辺の本市管理施設の改修

- ・ 国際交流プラザの案内サインの更新やタイルの修繕などを実施
- ・ 警備を容易にするため未利用地の草刈りを実施
- ・ 共同溝入口の鍵を修繕
- ・ 要人の車列ルートとなる、けやき通りや国際大通りの車止めを増設
- ・ 監視体制の強化に向けた繁華街安心カメラの増設

### (イ) 会場周辺の警備強化

- ・ 5月10日より、みなとみらい駅周辺を自転車等放置禁止区域に指定し、放置自転車の駐輪場への誘導や撤去を実施
- ・ 公園・共同溝・ふ頭・港湾等の巡回を強化
- ・ 水域警備の障害となる可能性のある沈没船の撤去や、海上清掃を実施
- ・ テロや不法行為を防止するため、けやき通りに仮設中央分離帯を設置
- ・ 違法なデモを防止するため、会場周辺の公園に仮設フェンスを設置

## ウ 危機管理、医療、食品・環境衛生対応

- ・ 「2010年日本APEC横浜市警戒本部」(庁内)を設置(以後5回の本部会議を開催するとともに、災害を想定した訓練を実施)
- ・ パシフィコ横浜会議センター及び展示ホールにそれぞれ救護室を設置、インターコンチネンタルホテルに要人用救護室を設置
- ・ 会議場や、みなとみらい21地区周辺のホテル、飲食店等に対する衛生点検(立入調査、食品検査)を実施するとともに、情報伝達体制を確立

### 《写真》







放置自転車等対策



放置自転車等対策



沈廃船の撤去



仮設中央分離帯の設置



仮設フェンスの設置



2010年日本APEC横浜市警戒本部会議



災害を想定した訓練の実施



現地救護室

## (2) APEC横浜開催を意義あるものとするための取組

### ア 親しむ

#### (ア) 様々な広報・PR

- ・ APEC横浜開催を周知するため、「広報よこはま」やポスター、リーフレット、横断幕、ラジオ、民間情報誌などを活用した様々な広報を展開（21年8月～22年11月）
- ・ ウェブサイトによる会議開催情報、イベント情報などの発信（21年11月～）
- ・ 民間事業者等のAPEC関連企画・イベントを一体的に広報・PRするAPEC横浜開催記念キャンペーンの実施（9～10月）
- ・ 市内18図書館でのAPEC関連書籍とパネルの巡回展（7～11月）

#### (イ) 市内小学生とAPEC参加国・地域出身者との交流

- ・ 市内小学校（21校）の児童（約1,900名）が、APEC参加国・地域の出身者等と交流し、参加国・地域の文化、歴史等を学習（6～9月）

#### (ウ) APEC横浜開催記念イベント

- ・ 9月28日～10月3日、赤レンガ倉庫において開催。大使館等の協力を得て、参加国・地域を紹介するパネルや、市内9会場で市民とともに制作した「おもてなし作品」を展示
- ・ 市内小学校とAPEC参加国・地域との交流の成果を代表3校が発表するとともに、中学生・高校生が参加国・地域の昔話を題材として制作した大きな絵本の朗読会を実施（来場者約4,500名）

#### (エ) 既存イベント・企画との連携

- ・ 市内の既存イベント・企画（ザよこはまパレード、横浜開港祭、各区区民まつり、市内大学「開港塾」など）と連携し、APEC横浜開催をPR（21年10月～22年10月）

#### (オ) APEC開催記念シンポジウム

- ・ 11月11日、日産ホールにおいて「女性の社会進出が支える持続可能な発展」をテーマに開催（参加者約650名）

### 《写真》



ポスター



リーフレット



開催周知の横断幕（鶴見区総合庁舎）



開催記念キャンペーン





18 図書館での巡回展



市内小学生と参加国・地域出身者との交流



APEC 横浜開催記念イベント (各国・地域の紹介)



APEC 横浜開催記念イベント (小学生の学習成果発表)



APEC 横浜開催記念イベント (各国・地域の手作り絵本)



APEC 横浜開催記念イベント (おもてなし作品の展示)



保土ヶ谷花フェスタでのPR



APEC 開催記念シンポジウム



## イ おもてなし

### (ア) 街の美化イベント

10月23日、「ウェルカムAPECクリーンアップ」を実施し、約1,200人の市民参加により会議場周辺を清掃。また、市内関係団体も独自の清掃活動で協力

### (イ) お出迎え等

- ・ 各国・地域の手首、閣僚等をホテルでお出迎え
- ・ APEC手首会議開催地「横浜」の記憶や印象を会議参加者に永く残すため、各国・地域に対し絵皿を贈呈

### (ウ) 市民サポーター・ジュニアサポーターによる案内

11月6～15日、市民サポーター約140人がホテルなど10か所のインフォメーションデスクで、また、ジュニアサポーター約590人が横浜駅通路で会議関係者を案内

### (エ) 市民とともに制作した「おもてなし作品」の会議場への展示

7～9月にかけて市民の手顔を撮影した写真を組み合わせ制作した「おもてなし作品」を、11月7～14日、パシフィコ横浜会議センター2階ロビーに展示し、会議関係者を歓迎

### (オ) 会議関係者の視察への対応

- ・ 11月10日、八景島シーパラダイスにおいて閣僚手首者エクスカージョンを行い、参加者を地元の食材でおもてなし
- ・ 11月13日、2010年APEC横浜開催推進協議会と横浜能楽堂が共催する特別公演に、社団法人日本経済団体連合会が主催するCEO手首者プログラムの参加者が来場し、日本の伝統文化を体験
- ・ 11月14日、三溪園において手首手首者プログラムが政府主催で行われ、本市はこれを支援。参加者は、お茶や着物、庭園といった日本の伝統文化を体験

### (カ) 街の歓迎装飾

- ・ 会場周辺を中心にバナーフラッグ、横断幕・懸垂幕等で装飾
- ・ 市内企業、団体関係者の協力を得て、植栽やイルミネーションを設置

## 《写真》





市民サポーターの活動（みなとみらい駅）



ジュニアサポーターの活動（横浜駅）



会議場に展示された「おもてなし作品」



閣僚同伴者エクスカージョン（八景島）



横浜能楽堂特別普及公演



首脳同伴者プログラム（三溪園）



会場周辺の歓迎装飾（桜木町）



会場周辺の歓迎装飾（みなとみらい駅）

## ウ アピール

### (ア) 地元PRブースの設置

- ・ 11月6～14日、政府展示「JAPAN EXPERIENCE～日本の知恵と技術の体験空間～」に、2010年APEC横浜開催推進協議会として「OPEN YOKOHAMA」をテーマに出展（約300㎡の規模）
- ・ 横浜・神奈川の観光地、名産品の紹介や、上下水道の都市システム、横浜スマートシティプロジェクトなどの先進的な取組や地元企業の技術等を紹介（メディアをはじめ、首脳同伴者や国内外の大臣など約3,400名が来場）

### (イ) 視察プログラムの実施

- ・ 11月7～12日、会議関係者を対象に「観光・コンベンション都市」「環境モデル都市」のPRのため、視察ツアーの実施や、観光施設・博物館等のチケットを配布したほか、スマートシティプロジェクトを紹介（視察ツアー参加者75名、チケット利用者約300名、スマートシティプロジェクト視察者582名）

### (ウ) 地元PRキットの配布等

- ・ 横浜の魅力をアピールするとともに、快適な横浜滞在の一助となるよう、観光マップ、飲食店ガイド、視察プログラム紹介リーフレット、CD等を会議関係者に配布
- ・ ジャパンタイムズに横浜のシティセールス広告を掲載し、会議関係者に配布

### (エ) 交流会等の開催

- ・ 11月8日、高級実務者昼食会をホテルニューグランドにおいて開催し、日本の様々な食文化発祥の地である横浜を紹介（参加者31名）
- ・ 11月9日、閣僚歓迎レセプションを神奈川県、地元企業との共催によりロイヤルパークホテルにおいて開催し、みなとみらい21地区の街づくりなどを紹介（参加者約240名）
- ・ 11月12日、ビジネスリーダー交流会を2010年APEC横浜開催推進協議会と、社団法人日本経済団体連合会との共催により大さん橋ホールにおいて開催し、地元企業と海外CEOとの交流の場とするとともに横浜・神奈川の魅力や地元企業・団体の取組をアピール（参加者約1,000名）

## 《写真》







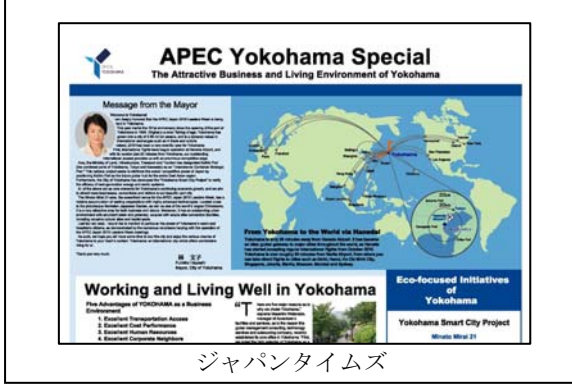
視察プログラム (日産スタジアムにおける効率的な水利用)



視察プログラム (スマートシティプロジェクト)



地元PRキット



ジャパンタイムズ



高級実務者昼食会



関係者歓迎レセプション



ビジネスリーダー交流会



ビジネスリーダー交流会